

**地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
改革プランの点検・評価結果について**

**平成24年（2012年）8月**

**地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会**



## 1. はじめに

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、山形県の北庄内地域における中核的な医療機関として、高度医療や専門医療を提供するとともに、地域住民の健康を継続して支えていくことを目的とし、平成20年4月に山形県立日本海病院と酒田市立酒田病院の2病院を経営統合する形で設立された。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構改革プラン（以下、「改革プラン」という。）は、平成21年2月に策定され、平成21年度から平成23年度の計画期間において、「安心、信頼、高度」の医療提供、「保健、医療、福祉」の地域連携という理念にもとづき、より一層地域に密着し、医療サービスの質の向上に不断の努力を傾注し、安全かつ適正な病院運営に努め、政策医療を含む高度専門医療の提供などの役割を継続的に果たしていくためには、経営基盤の安定化を図っていくことが何よりも重要であるとしている。

この改革プランの点検・評価については、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会（以下、「評価委員会」という。）において行うこととされていることから、当評価委員会において、財務諸表への意見、年度計画に対する評価の実施にあわせて、点検・評価を行うものである。

## 2. 点検・評価について

この改革プランには、「Ⅰ. 今後、病院機構が果たすべき役割」、「Ⅱ. 経営の効率化にかかる計画」、「Ⅲ. 病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等」についての計画があることから、これらの項目について、点検・評価を行うものとする。

### Ⅰ. 今後、病院機構が果たすべき役割について

#### A 日本海総合病院の機能について

救急医療、急性期医療、高度医療などについては、日本海総合病院に集約し、庄内地域の中核病院としての役割を担うこととしている。平成20年度の統合再編時より、診療科を日本海総合病院に集約する等の対応が進められ、地域の基幹病院としての役割を担うための整備等が進められた。

(1) 救急医療

日本海総合病院増改築により整備した救命救急センターを平成23年4月に開設した。

また、院内に酒田地区広域行政組合の救急ワークステーションが整備された。

(2) 急性期医療

日本海総合病院増改築により、病床、外来、手術室等の増改修が完了し、また平均在院日数は、平成20年度の14.5日から、平成21年度は12.7日、平成22年度は11.9日、平成23年度は11.7日と短縮されており、急性期医療の機能充実が図られている。

(3) 政策医療等

がん医療については、がん化学療法・緩和ケア・がん相談等の機能充実が図られ、また、PET/CTの平成24年6月導入に向けPETセンター棟増築工事が行われた。

災害医療に関しては、東日本大震災においてDMAT等を派遣して医療救護活動を実施するとともに、被災者の受入を行っている。

平成23年4月から「認知症疾患医療センター」を新たに設置し、645件の新規専門相談を受け付けた。

また、増築棟には感染症医療に対応する特殊診察室等が整備され、庄内二次保健医療圏域における基幹病院としての役割を担っている。

(4) 人工透析

原則として急性期透析を担うことから、慢性期透析は地域医療連携により他の病院と連携を図っている。

(5) 検診機能（人間ドックなど）

これまで酒田医療センターで行われていた人間ドックについては、日本海総合病院の増改築工事により6病床が整備された。また、一般検診のほか、乳がん、子宮がんなどの個別検診を実施し、早期発見、早期治療に努めている。

(6) 周産期医療の充実

平成21年度より日本海総合病院に産科機能を集約し、LDR2室等の整備が行われた。また、助産師外来による妊婦検診や院内助産が行われている。

## (7) 地域連携の推進

医師会、他の医療機関、地域包括支援センター、介護・福祉施設、行政機関との連携を進めるため、病院内の地域医療室が窓口となり、地域連携が推進されている。

また、ITを利用した地域連携クリティカルパスについては、登録件数が193件、平成23年4月に運用開始した医療情報ネットワークシステム（ちょうかいネット）については59の医療・福祉施設と連携を図るなど、医療情報の共有化が推進されている

## B 酒田医療センターの機能について

酒田医療センターについては、原則として回復期の医療を担うため、平成21年度において中期計画の変更を行った。

新たな病棟の増築、旧東棟の改修工事が進められ、療養病床を114床とし、回復期リハビリテーションや、在宅復帰の支援等、北庄内地域において不足している医療機能の整備が進められている。

## II. 経営の効率化にかかる計画について

### (1) 事業規模・形態の見直し

両病院の病床数は次の表のとおり見直しされている。

病床数の見直し	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
日本海総合病院	528床	525床	525床	646床	646床
日本海総合病院 酒田医療センター	400床	235床	235床	114床	114床
合計	928床	760床	760床	760床	760床

日本海総合病院の増築工事については、平成22年度中に完成し、酒田医療センターからの診療科移行が予定通り完了した。

酒田医療センターについては、平成21年度において変更された中期計画に基づき、平成24年7月の一部開院に向け、療養病床への転換が実施されている。

## (2) 経費節減・抑制対策

材料費、薬品費については、その節減に努め、2病院での共同購入を促進した。人件費等の対医業収益比率については、中期計画期間の最終年度において達成するとしている、『平成18年度における全国の500床以上の自治体黒字病院の平均値を上回らないこと』という目標を、平成23年度においても引き続き達成している。特に人件費率においては、45.4%を達成している。

また、中期計画期間内に達成するとしている経常収支比率100%以上についても、平成20年度以降毎年度達成している。

500床以上の全国自治体黒字病院の対医業収益比率(H18)		平成21年度	平成22年度	平成23年度
人件費	52.3%	51.7%	50.8%	※ 45.4%
材料費	28.4%	24.8%	24.8%	23.4%
経費	17.3%	15.0%	15.6%	15.6%

※ 平成23年度決算から会計の処理基準を見直し、退職給与引当金及び賞与引当金繰入額を給与費から除外し算出したもの。従来の会計方式では50.5%となる。

## (3) 収入増加、確保対策

- ① 山形大学や東北大学との連携により、医師、研修医の確保に努めている。
- ② 看護師の雇用に力を入れ、日本海総合病院においては、7対1看護基本料の確保を行っている。
- ③ 必要な人員を配置し、施設整備を行うことにより、施設基準の届出を行い、加算要件を満たすよう努めている。
- ④ 平成21年度より日本海総合病院においてDPCを導入している。
- ⑤ 日本海総合病院において、クリティカルパスの適用と地域連携の推進により、平均在院日数が短縮され病床回転率が上昇している。
- ⑥ 上記①から②の要因により平成23年度の入院単価が55,051円となった。(平成19年度39,373円から15,678円増加。)

## (4) 診療体制、人員配置の弾力的運用

- ① 病院運営に必要な人員を確保するため、4月採用のほか、7月、10月の中途採用を行っている。
- ② 2病院間で、職員の人事異動を行い、機能に対応した人員体制を整備した。

- ③ 診療情報管理士・医療クラークなど専門知識を必要とする事務系職員の大量採用により、医師、看護師等の専門業務以外の業務負担軽減が図られているとともに、診療報酬の請求漏れの抑制など、効率的な病院運営を実施している。

### Ⅲ. 病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等について

#### 1 病床数の見直し

医療機能の統合再編によって、日本海総合病院・酒田医療センターともに担うべき診療機能及び患者ニーズ等に対応した病床数に見直しが行われた。

病床利用率に関して、日本海総合病院においては目標を達成した。一方、酒田医療センターにおいては目標値を下回っている。これは、両病院間での診療科移行を円滑に行うための病床管理を行ったことによるものである。

#### 2 施設整備の経過及び今後の予定

日本海総合病院においては、医療機能を統合再編するため所要の施設整備が平成22年度に完成。救命救急センターも平成23年4月に供用を開始されている。

また、PET/CTの平成24年6月の導入に向けPETセンター棟の増築工事を実施したほか、駐車場の整備工事も行われている。

酒田医療センターについては、新たな病棟の増築工事及び旧東棟の改修工事が平成24年7月の一部開院に向け進められている。

#### 3 その他施設

職員の勤務時間の特殊性に配慮して、平成21年7月から院内保育所の24時間対応及び入所定員の増加が図られた。また、平成23年11月から病児・病後児保育事業を実施（酒田市からの受託児童も受け入れている。）したほか、貸与被服の充実など、就労環境の整備が進んでいる。

### 3. 評価結果のまとめ

病院機構が運営する2病院において、日本海総合病院が地域の中核病院として急性期医療を、酒田医療センターが療養・回復期医療を担うとする計画に沿った医療機能の集約と再編等が行われている。

施設整備に関し、日本海総合病院においては、手術室や放射線部門の拡充及び南病棟の整備などの増築工事を終え、平成22年10月から診療科の移行を行った。また、平成23年4月に救急救命センターを供用開始し、統合・再編に係る整備が完了した。

酒田医療センターにおいては、新たな病棟の増築工事及び旧東棟の改修工事が平成24年7月の一部開院に向け進められ、医療環境が整いつつある。

他の医療機関等との連携に関しては、地域連携クリティカルパスの活用や酒田地区医療情報ネットワーク事業（ちょうかいネット）の推進など、他の医療機関等との連携の面で地域の中核病院としての責任と役割を果たしている。

職員配置の面では、大学との連携による医師確保をはじめ、年度中途の職員採用や、2病院間の人事異動など、弾力的な人員配置を行っている。

あわせて、医師や看護師の負担軽減を図るために、医療クラークや看護補助者を配置するなど、積極的な取組みが見られる。

また、人材育成の面では、各部門で院内研修を実施するなど、医師や看護師等の専門技能の向上に取り組んだこと、特に看護部門では認定看護師等の養成など、優秀な人材の育成に努めている。

就労環境の面では、院内保育所の24時間対応の実施、病児・病後児保育事業の実施や貸与被服の充実など、環境の整備にも努めている。

病院運営に関しては、日本海総合病院に業務改善委員会を設置し、各部門代表者によるスピーディーな業務改善と専門職種間の連携強化に努めている。

上記の積極的な活動を行った結果、目標である経常収支比率100%以上が引き続き達成され、平成20年度以降引き続き黒字決算が続いている。

これらの病院機構の業務運営に対する努力については、評価委員会としても非常に高く評価するものである。

### 4. 改革プラン点検・評価結果の公表

改革プランの点検・評価結果の公表については、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構のホームページにより行うものとする。

別 紙

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（全体）

1. 収支計画(収益的収支)
2. 収支計画(資本的収支)
3. 一般会計等からの繰入金の見通し

日本海総合病院

1. 収支計画(収益的収支)
2. 収支計画(資本的収支)
3. 一般会計等からの繰入金の見通し

日本海総合病院酒田医療センター

1. 収支計画(収益的収支)
2. 収支計画(資本的収支)
3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(別紙1)

団体名  
(病院名)地方独立行政法人山形県・酒田市  
病院機構

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収入	1. 医業収益 a	14,193	14,326	15,141	14,757	16,611
	(1) 料 金 収 入	13,246	13,519	14,312	14,098	15,382
	(2) そ の 他	947	807	829	659	1,229
	うち他会計負担金	442	400	370	215	618
	2. 医業外収益	1,239	1,231	1,279	1,195	1,349
	(1) 他会計負担金・補助金	1,148	1,148	1,172	1,125	1,175
	(2) 国(県)補助金	27	18	29	0	63
	(3) そ の 他	64	65	78	70	111
	経 常 収 益 (A)	15,432	15,557	16,420	15,952	17,960
	支出	1. 医業費用 b	14,317	14,305	15,133	14,924
(1) 職 員 給 与 費 c		7,354	7,402	7,688	7,656	7,548
(2) 材 料 費		3,451	3,555	3,749	3,908	3,885
(3) 経 費		2,234	2,142	2,362	1,992	2,590
(4) 減 価 償 却 費		1,094	994	1,010	1,168	1,431
(5) そ の 他		184	212	324	200	1,139
2. 医業外費用		988	982	1,059	841	950
(1) 支 払 利 息		680	577	539	726	545
(2) そ の 他		308	405	520	115	405
経 常 費 用 (B)		15,305	15,287	16,192	15,765	17,543
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	127	270	228	187	417	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	20	1	13	13	2,126
	2. 特 別 損 失 (E)	25	16	50	19	2,232
	特別損益(D)-(E) (F)	△ 5	△ 15	△ 37	△ 6	△ 106
純 損 益 (C)+(F)	122	255	191	181	311	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	△ 275	△ 13	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	6,672	8,129	10,218	7,798	9,039
	流 動 負 債 (イ)	980	959	1,981	1,180	3,696
	うち一時借入金	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0
	差引不良債務(オ)	0	0	0	0	0
単年度資金不足額(※)	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.8	101.8	101.4	101.2	102.4	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	99.1	100.1	100.1	98.9	100.1	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	51.8	51.7	50.8	51.9	45.4	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	85.7	80.5	81.1	84.5	82.7	

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収 入	1. 企 業 債	573	2,053	3,245	309	524
	2. 他 会 計 出 資 金	2,582	564	1,132	0	629
	3. 他 会 計 負 担 金	1,027	1,068	1,082	1,079	1,070
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	9	16	7	0	6
	7. そ の 他	1	1	0	0	904
	収 入 計 (a)	4,192	3,702	5,466	1,388	3,133
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	4,192	3,702	5,466	1,388	3,133	
支 出	1. 建 設 改 良 費	610	2,680	4,570	315	1,559
	2. 企 業 債 償 還 金	1,520	1,655	1,687	1,737	1,697
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	3,480	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	11	0
	支 出 計 (B)	5,610	4,335	6,257	2,063	3,256
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,418	633	791	675	123	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,418	633	791	675	123
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0
	計 (D)	1,418	633	791	675	123
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
				計画	実績
収 益 的 収 支	( ) 1,590,409	( ) 1,548,551	( ) 1,542,557	( ) 1,340,000	( ) 1,873,127
資 本 的 収 支	( ) 1,027,352	( ) 1,068,737	( ) 1,090,847	( ) 1,079,000	( ) 1,070,067
合 計	( ) 2,617,761	( ) 2,617,288	( ) 2,633,404	( ) 2,419,000	( ) 2,943,194

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙1)

団体名  
(病院名)地方独立行政法人山形県・酒田市  
病院機構(日本海総合病院)

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収入	1. 医業収益 a	10,065	10,423	13,002	13,246	16,185
	(1) 料 金 収 入	9,536	9,973	12,420	12,684	14,982
	(2) そ の 他	529	450	582	562	1,203
	うち他会計負担金	110	122	163	209	599
	2. 医業外収益	1,006	963	985	982	1,156
	(1) 他会計負担金・補助金	939	891	892	934	987
	(2) 国(県)補助金	27	17	29	0	63
	(3) そ の 他	40	55	64	48	106
	経 常 収 益 (A)	11,071	11,386	13,987	14,228	17,341
	支出	1. 医業費用 b	10,189	10,351	12,764	13,344
(1) 職 員 給 与 費 c		5,164	5,258	6,433	6,927	7,003
(2) 材 料 費		2,494	2,642	3,316	3,727	3,866
(3) 経 費		1,497	1,479	1,863	1,755	2,314
(4) 減 価 償 却 費		889	774	855	841	1,357
(5) そ の 他		145	198	297	94	1,062
2. 医業外費用		848	858	1,002	747	886
(1) 支 払 利 息		630	533	529	679	541
(2) そ の 他		218	325	473	68	345
経 常 費 用 (B)		11,037	11,209	13,766	14,091	16,488
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	34	177	221	137	853	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	11	0	13	13	1,637
	2. 特 別 損 失 (E)	18	15	49	13	2,160
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 7	△ 15	△ 36	0	△ 523
純 損 益 (C)+(F)	27	162	185	137	330	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,076	3,382	8,153	2,991	6,618
	流 動 負 債 (イ)	656	655	1,939	843	3,251
	うち一時借入金	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0
	差引不良債務(オ) [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)	0	0	0	0	0
単年度資金不足額(※)	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.3	101.6	101.6	100.9	105.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.8	100.7	101.9	99.3	103.7	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	51.3	50.4	49.5	52.3	43.3	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	85.9	79.3	82.8	84.5	86.0	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収 入	1. 企 業 債	404	1,989	3,231	209	292
	2. 他 会 計 出 資 金	2,582	564	1,124	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	834	900	886	899	1,014
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	9	14	7	0	6
	7. そ の 他	0	0	0	0	904
	収入計 (a)	3,829	3,467	5,248	1,108	2,216
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	3,829	3,467	5,248	1,108	2,216	
支 出	1. 建 設 改 良 費	441	2,607	4,529	215	716
	2. 企 業 債 償 還 金	1,184	1,347	1,341	1,403	1,612
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	3,480	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0
支出計 (B)	5,105	3,954	5,870	1,618	2,328	
差引不足額 (B)-(A) (C)	1,276	487	622	510	112	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,276	487	622	510	112
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0
計 (D)	1,276	487	622	510	112	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
				計画	実績
収 益 的 収 支	( ) 1,048,720	( ) 1,012,922	( ) 1,055,364	( ) 1,143,000	( ) 1,585,510
資 本 的 収 支	( ) 834,158	( ) 900,491	( ) 886,358	( ) 899,000	( ) 1,013,571
合 計	( ) 1,882,878	( ) 1,913,413	( ) 1,941,722	( ) 2,042,000	( ) 2,599,081

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙1)

団体名  
(病院名)地方独立行政法人山形県・酒田市  
病院機構(酒田医療センター)

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収	1. 医 業 収 益 a	4,128	3,903	2,139	1,511	426
	(1) 料 金 収 入	3,710	3,546	1,892	1,414	400
	(2) そ の 他	418	357	247	97	26
	うち他会計負担金	332	278	207	6	19
	2. 医 業 外 収 益	233	268	294	213	193
	(1) 他会計負担金・補助金	209	257	280	191	188
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	0	1	0	0	0
	(3) そ の 他	24	10	14	22	5
入	経 常 収 益 (A)	4,361	4,171	2,433	1,724	619
支	1. 医 業 費 用 b	4,128	3,954	2,369	1,580	991
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,190	2,144	1,255	729	545
	(2) 材 料 費	957	913	433	181	19
	(3) 経 費	737	663	499	237	276
	(4) 減 価 償 却 費	205	220	155	327	74
	(5) そ の 他	39	14	27	106	77
	2. 医 業 外 費 用	140	124	57	94	64
	(1) 支 払 利 息	50	44	10	47	4
	(2) そ の 他	90	80	47	47	60
	出	経 常 費 用 (B)	4,268	4,078	2,426	1,674
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	93	93	7	50	△ 436	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	9	1	0	0	489
	2. 特 別 損 失 (E)	7	1	1	6	72
	特別損益 (D)-(E) (F)	2	0	△ 1	△ 6	417
純 損 益 (C)+(F)	95	93	6	44	△ 19	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	△ 275	△ 13	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	4,596	4,747	2,065	4,807	2,421
	流 動 負 債 (イ)	324	304	42	337	445
	うち一時借入金	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	[(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	0	0	0	0	0
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.2	102.3	100.3	103.0	58.7	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.0	98.7	90.3	95.6	43.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	53.1	54.9	58.7	48.2	127.9	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	85.0	83.1	74.3	84.5	62.7	

団体名  
(病院名)

地方独立行政法人山形県・酒田市  
病院機構(酒田医療センター)

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
					計画	実績
収 入	1. 企 業 債	169	64	14	100	232
	2. 他 会 計 出 資 金	0		8	0	629
	3. 他 会 計 負 担 金	193	168	196	180	56
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	2	0	0	0
	7. そ の 他	1	1	0	0	0
	収 入 計 (a)	363	235	218	280	917
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	363	235	218	280	917	
支 出	1. 建 設 改 良 費	169	73	41	100	843
	2. 企 業 債 償 還 金	336	308	346	334	85
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	11	0
支 出 計 (B)	505	381	387	445	928	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	142	146	169	165	11	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	142	146	169	165	11
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0
計 (D)	142	146	169	165	11	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度	
				計画	実績
収 益 的 収 支	( )	( )	( )	( )	( )
	541,689	535,629	487,193	197,000	287,617
資 本 的 収 支	( )	( )	( )	( )	( )
	193,194	168,246	204,489	180,000	56,496
合 計	( )	( )	( )	( )	( )
	734,883	703,875	691,682	377,000	344,113

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。